

# 生徒支援の具体的アプローチ

## 学校教育の目的

人格の完成・心身ともに健康な国民の育成

## 生徒指導の目的

自己の幸福追求

社会に受け入れられる  
自己実現

社会の発展追求

個性の発見

よさや可能性の伸長

社会的資質・能力の発達

## 生徒指導の目標

### 自己指導力の獲得

生徒が深い自己理解に基づき、「何をしたいのか」「何をすべきか」、主体的に問題や課題を発見し、自己の目標を選択、設定してこの目標の達成のため、自発的、自律的、かつ他者の主体性を尊重しながら、自らの行動を決断し、実行する力

## 総合的な探究の時間における生徒指導

総合的な探究の時間においては、他の教科等以上に、知識や技能を自ら求めていく人間像が想定されている。そうした自ら求めようとする姿勢を生徒に促すのは、生徒指導の定義にある「社会の中で自分らしく生きることができる存在へと生徒が、自発的・主体的に成長や発達を支える」ことと重なる。

探究のプロセスを意識した学習活動では、主体的に問題や課題を発見し、自己の目標を選択、設定して、この目標達成のため、自発的、自立的、かつ、他者の主体性を尊重しながら、自らの行動を決断し、実行する力である「自己指導能力」を育むことが目指され、自己の在り方生き方に照らし、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、自らの課題を発見し解決していくための資質・能力を育成することがもめられる。

## 特別活動における生徒指導

特別活動は「なすことによって学ぶ」ことを方法原理とし、「集団や社会の形成者としての見方や考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を發揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決する」ことと通して、資質・能力を育む教育活動である。

- (1) 所属する集団を、自分たちの力によって円滑に運営することを学ぶ
- (2) 集団生活の中でよりよい人間関係を築き、それぞれが個性や自己の能力を生かし、互いの人格を尊重し合っていることの大切さを学ぶ
- (3) 集団としての連帯意識を高め、集団や社会の形成者としての望ましい態度や行動の在り方を学ぶ

## 特別活動の3つの視点

- ①人間関係形成 ②社会参画 ③自己実現

## 生徒指導の実践上の視点

### 自己存在感を感受できるような配慮

「自分も一人の人間として大切にされている」と感じ、自分を肯定的に捉える自己肯定感や、認められたという自己有用感を育む工夫が求められる。

- ◆自己存在感・・・大切にされている
- ◆自己肯定感・・・自分を肯定的に
- ◆自己有用感・・・役に立った

### 共感的な人間関係の育成

学級は、偶然の出会いから始まる生活集団。それを認め合い、励まし合い、支え合える学習集団に変えていけるかが学級経営の焦点になる。失敗を恐れない、間違いや失敗を笑わない、自他の個性の尊重できる、相互扶助的で共感的な人間関係を作り上げる。

### 自己決定の場

授業の場面で自ら意見を述べたり、観察・実験・調べ学習等に自己の仮説を検証しレポートにまとめたりすることを通して、自ら考え、選択し、決定する力が育ちます。  
◆主体的で対話的な授業の展開 = 授業改善  
生徒の学びを促進するファシリテーターとして。

### 安全・安心な風土

授業において、生徒の個性が尊重され、安全かつ安心して学習できるように配慮することも不可欠。学級集団が生徒の心の居場所になることが望まれる。(居場所づくり・仲間づくり・主体性づくり)前提として、個性的な存在として尊重されている、お互いの個性や多様性を認め合えること。

## 学級経営(個別指導・集団指導)

学級・ホームルームは、生徒にとって、学習や生活など学校生活の基盤となるもの。生徒は、学校生活の多くの時間を学級・ホームルームで過ごすため、自己と学級・ホームルームの他の構成員との個々の関係や自己と学級・ホームルーム集団との関係は、学校生活そのものに大きな影響を与えることとなる。個々の生徒が、学級・ホームルーム内でよりよい人間関係を築き、学級・ホームルームの生活に適應し、各教科等の学習や様々な活動の効果を高めることができるように、学級・ホームルーム内での個別指導や集団指導を工夫することが求められる。担任は、学校の教育目標や学級・ホームルーム経営の目標・方針に即して、学級・ホームルーム経営を展開する。偶然の出会いから始まる生活集団を、共に認め・励まし合い・支え合う学習集団にしていくことが焦点である。これは、児童生徒の居場所をつくり、失敗や間違いを通して皆で考え、支え合い、創造する集団、つまり、生徒指導の実践集団を育てることでもある。

## 生徒理解

### 集団指導 (ガイダンス機能)

集団の場面で必要な指導や援助

集団指導をとおして個を育成

### 個別指導 (カウンセリング機能)

個々の生徒の多様な実態を踏まえ、一人ひとりが抱える課題に

個別に対応した指導や援助

個の成長が集団を進展させる

相互作用